



道守かごしま通信



平成30年2月 第27号

道守かごしま座談会を開催しました。平成30年2月19日(月)15時から17時

道守かごしま会議では、毎年「道守かごしま座談会」を開催しており、今年度の座談会は、「魅力ある道守活動のために」をテーマにワークショップと講演会を行いました。

ワークショップ風景



ワークショップでは、「みちづくしin宮崎2017」交流会の分科会で各県道守が発表し、意見交換した4つのテーマについて、当会員でも討議・発表を実施！参加者40名による熱心な討議により、「みちづくし」時にはなかった意見が数多く出され、とても有意義なワークショップとなりました。

1班 道守の人材確保・育成について
 河川、海岸、砂防もやってる⇨埋没
 ・人材確保と育成を分ける
 ・地域性のアピール(観光・物産)
 ・今年は何をやる？目標、イベント(清掃、花植え)
 ⇨やりたい人もいる。声掛けができていない。
 ・道守を知らない人が多い(宣伝)
 出前講座、菜の花マラソンにのぼり旗
 ・小中学生に働きかけ
 ・自治体、公民館もやっている・会員高齢化
 ・チームリーダーが必要

2班 道守活動の資金調達について
【現状】企業で道守活動をしているので必要性を感じていない(人員確保に力を入れている)
 ⇨資金は活動内容とリンクしている
【具体的方法】
 ・イベント等でフリーマーケット
 ・プラントや看板等に企業名を掲載
 ・インターネットを活用
 ・自治会等が故郷を出た人達に声をかける

4班 まち歩きを通じた地域活性化について
 ・歩きたい街づくり
 ・独特のもの(鹿児島)
 ・道守にこだわらない
 ・アピールできるもの
 ・子供達を取り込み声掛け(高齢者も含む)
 ・ボランティアの育成(その地域に詳しい方)
 ・地域活性化よりはまち歩き

3班 道守と地域との連携について
【課題】
 ・地域の皆さんに愛着を持って貰う⇨キーパーソンが必要(団体)
 例)子供達、スポーツ少年団、小学生生徒等
 ・子供達に意識を持って貰うには!!(大人を含め)
 ・花苗の入れ替えが難しい
 ・道守を知らない。マスコット等を利用、告知をどうするか
 ・企業に協力要請してみても！⇒たくさん課題がある
【解決策】
 ・花苗ではなく、野菜・ハーブ(収益になるもの)
 ・子供達、高齢者を巻き込んでグッズ、健康づくりを提案する(ポイント制的な)
 ・SNSの発信⇒影響力がある人が拡散
 ・県内某地域⇒しそジュース、草払い、声掛け運動を含む(安否確認)
 ↓
 ・活動している事を発信する事で意識を高める
 すると、気にとめる ⇒人が増える⇒仲間が増える
 考える

講演会:「明治維新から150年「西郷どんと街道」



鹿児島は、「明治維新から150年」と大河ドラマ「西郷どん」で盛り上がっています。講演会は、尚古集成館の松尾館長にお願いし、江戸末期から明治初期の「街道」についてお話しいただきました。この街道が私達が活動している現在の道路となっています。まさに、「道守かごしま会議」にふさわしい内容となりました。